



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

12月号—No.272

2017.11.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



りゅーとびあ☆オルガン・クリスマスコンサート(新潟市)

©りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

●目次 / contents

今月のニュース.....2

「ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース」
「文化政策幹部セミナー」 報告

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー.....4

今月の情報.....7

地域通信

財団からのお知らせ.....10

「公立文化施設の管理運営状況に関する調査研究」アンケート調査実施のお知らせ/平成29年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」終了報告/平成28年度事業報告書 ウェブサイト公開のお知らせ/平成29・30年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」鹿児島セッションシンポジウム終了報告/平成29年度「公共ホール音楽活性化政令指定都市アウトリーチセミナー事業」終了報告

今月のレポート.....12

熊本県津奈木町 つなぎ美術館 西野達「ホテル裸島 リゾート・オブ・メモリー」

「2020年後の協働の芸術文化活動」をテーマに開催

ステージラボ
公立ホール・劇場
マネージャーコース

2017年10月16日～18日

文化政策幹部セミナー

2017年10月16日、17日



地域創造では公立文化施設の幹部職員および自治体の文化セクション幹部職員を対象とした研修事業「ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース」(以下、マネージャーコース)と「文化政策幹部セミナー」(以下、幹部セミナー)を開催し、施設運営者と設置主体の課題共有や相互交流を図っています。東京オリンピック・パラリンピックを控え、文化プログラムに取り組む地域も多いことから、今回はそうした取り組みが地域の「文化的commons」^{(*)1}に発展するにはどうすればいいか、さまざまな事例紹介とともに、実践者を講師に招いた議論が行われました。

マネージャーコースのコーディネーターは地域創造が調査研究において文化的commonsを提唱した際の調査員でもある藤野一夫さん(神戸大学大学院教授)、幹部セミナーのコーディネーターは自治体同志が連携した広域的な文化的commonsの可能性について研究されている伊藤裕夫さん(文化政策研究者)です。

●アートの力が育む社会～マネージャーコース

マネージャーコースには、公立ホール、財団等の職員20人が参加しました。まず、幹部セミナーも含めた参加者全員を対象に、藤野さんが文化を社会インフラとしてとらえる文化的commonsの考え方について、経済学の「社会的共通資本」^{(*)2}の概念を用いて解説する全体講義が行われました。

その後のゼミでは、さまざまな実践例が紹介されました。医療産業都市を掲げる神戸市の施策に則り、患者のQOLを高めることを目的

に病院等にアーティストを派遣するアウトリーチ事業「医療+アート」を行っている神戸市民文化振興財団の近藤のぞみさんは、どのように医療現場と協働していったかの経緯について詳しく紹介。藤野さんは、「このようにまちづくり等の手段としてアートを使うことでより楽しくなることがある。一方、アートにしかできないこととは何かを見極める必要もある」と強調されていました。

最終日のゼミでは、演出家の多田淳之介さん、バレリーナの針山愛美さんという2人のアーティストから、それぞれの取り組みが紹介されました。なかでも埼玉県の富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみで芸術監督を務める多田さんが公立ホールを地域に開くために行っているプログラムの数々は大変興味深いものでした。市民メンバーの興味や得意なことを活かしながら表現活動を行う市民カンパニー「ACT F」では、学校や幼稚園、福祉施設へのアウトリーチはもちろんのこと、高齢化社会などの地域課題に向き合っています。また、工欠材料などをたくさん揃えて子どもたちの遊び場として施設を開放し、多田さんも一緒に遊ぶ「こどもステーション キラリ」なども紹介され、公立ホールの限らない可能性に気づかされた参加者からは「すぐに始めてみたい」という声も上がっていました。

「僕は元々みんなと一緒につくるといったタイプの演出家だったので、僕にとっての演劇表現を公立ホールに拡張し、その機能を使ってどう読み替えていくかということをやっているだけ。それが地域に開くことに繋がっている」と多田さん。藤野さんは、「公立ホールの内と外を縦横無尽に行き来して地域コミュニティをステージ化

写真

左：共通プログラム2「黄金町バザール&若葉町計画ツアー」

右：共通プログラム3「トークセッション&ディスカッション」の様子

*1 文化的commons

地域社会を構成する誰もが文化的営みに参加できる公共圏のイメージ。平成24・25年度調査研究「災後における地域の公立文化施設の役割に関する調査研究—文化的commonsの形成に向けて」および平成26・27年度調査研究「地域における文化・芸術活動を担う人材の育成等に関する調査研究報告書—文化的commonsが、新時代の地域を創造する」において提唱された概念。

・「災後における地域の公立文化施設の役割に関する調査研究—文化的commonsの形成に向けて」

<http://www.jafra.or.jp/j/library/investigation/new/index.php>

・「地域における文化・芸術活動を担う人材の育成等に関する調査研究報告書—文化的commonsが、新時代の地域を創造する」

http://www.jafra.or.jp/j/library/investigation/027/data/27_1.pdf

*2 社会的共通資本

豊かな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような自然環境や社会的装置のことで、経済学者の宇沢弘文が提唱した概念。

▼ 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

している。文化的コモンズの具体的な実践のひとつだと思う」と指摘されていました。

● 広域的な自治体文化政策～幹部セミナー

幹部セミナーには自治体と財団職員10人が参加しました。初めに伊藤さんから自治体文化政策の流れを概観する講義が行われ、最新動向として地域版アーツカウンシルについて紹介されました。

これを受けて、自治体文化行政の先進的な取り組みを行っている静岡県文化・観光部文化政策課の岩瀬智久さんから、オリンピック・パラリンピック・文化プログラムを推進するため、2015年度から専門のプログラム・コーディネーターおよび専門スタッフを非常勤として雇用。16年度には観光・産業・福祉・医療・教育・まちづくりなどの課題に文化・芸術が向き合う企画を公募し、プログラム・コーディネーターなどの助言を得ながらNPOや文化団体などが取り組んだモデルプログラムの事例が報告されました。「コーディネーターには地域の文化団体と程良い距離感を保つことが求められる」と岩瀬さん。

また、京都府文化スポーツ部の八巻真哉さんからは、京都府内各地にアーティストが滞在して地域性や歴史性を踏まえた創作活動と作品発表を行うアーティスト・イン・レジデンス事業「京都：R-search」が紹介されました。八巻さんはこの事業を行うために専門職として入庁したキュレーター。行政のさまざまな制約の中で、自治体を横断して広域的に展開するこうしたアートプロジェクトについて、伊藤さんは「地域版アーツカウンシルを設計する上でも、市町村という自治体の枠を超えて文化資源や人材を共有していくこうした試みは参考になる」と指摘されていました。

● 黄金町バザールを視察～共通プログラム

共通プログラムでは、「アートによるまちの再生」を行い、成功事例として注目されている横浜市中区黄金町エリアに出掛けました。ちょうど開催中だったアートフェスティバル「黄金町バ

ザール2017」を、フェスを主催するNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターの山野真悟さんの解説付きでツアーするという贅沢な視察となりました。その後、公立ホールの芸術監督を歴任してきた演出家の佐藤信さんが隣町にオープンしたばかりの民間劇場兼レジデンス施設「若葉町ウォーフ」を視察しました。

元金融機関の建物を改修したというウォーフを会場に、山野さん、労働者のまちである大阪・釜ヶ崎でアートプロジェクトを実践している「こえとことばとこころの部屋」代表で詩人の上田假奈代さん、そして佐藤さんに八巻さんも加わり、トークセッションも行われました。上田さんは黄金町と釜ヶ崎の状況を重ね、「街で生活する日雇い労働に従事するおじさんたちが、自分の人生と向き合い他者と出会うことから生まれる表現を大切にしている」とコメント。佐藤さんは、ウォーフをオープンしたことについて、「劇場や芝居、宿をつくりたかったのではなく、それがひとつになったものをつくりたかった。公というのは自分の内側にあって、それを開いて、本当のパブリックをつくりたいと思った」と語りかけていました。

多彩な取り組みやそれぞれの思いのすべてを受け止める文化的コモンズ。その幅広さや可能性を改めて感じた研修となりました。



上:公立ホール・劇場マネージャーコース ゼミ5の様子(講師:多田淳之介さん)
下:文化政策幹部セミナー ゼミ3の様子(講師:八巻真哉さん)

ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース / 文化政策幹部セミナー スケジュール

	ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース	文化政策幹部セミナー
	共通プログラム1 藤野一夫、伊藤裕夫	
10月16日	ゼミ1 藤野一夫	ゼミ1 伊藤裕夫
	ゼミ2 近藤のぞみ	ゼミ2 岩瀬智久
	ゼミ3 藤野一夫	ゼミ3 八巻真哉
	交流会	
	共通プログラム2「黄金町バザール&若葉町計画 ツアー」 山野真悟	
10月17日	共通プログラム3「トークセッション&ディスカッション」 上田假奈代、佐藤信、山野真悟、八巻真哉	
	ゼミ4 藤野一夫	ゼミ4「総論」 伊藤裕夫 修了式
10月18日	ゼミ5 多田淳之介	
	ゼミ6 針山愛美	
	ゼミ7「総論」 藤野一夫	
	修了式	



クリスマス&年越し・新春企画特集



恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

☉は出演者(講師等)、☉は会場、☉は問い合わせ先です(☉は地域創造助成事業)。

クリスマス企画

●札幌市 12月23日、24日 モエレのホワイトクリスマス 2017

彫刻家イサム・ノグチが死の前まで基本計画に携わり、今年度は札幌国際芸術祭の会場ともなったモエレ沼公園で、今年で15回目を迎える恒例のクリスマスコンサート。シンボリックなガラスのピラミッド「HIDAMARI」を舞台に、札幌市内で活躍する音楽家たち10組が出演。ジャズやクラシックなどさまざまなジャンルの音楽が楽しめる。期間中はピラミッド前庭でスノーキャンドルを灯すワークショップも開催。

☉モエレ沼公園
☉モエレ沼公園管理事務所
Tel. 011-790-1231

●北海道名寄市 12月23日 ハートフルXmasコンサート

クラシック音楽は苦手という人も楽しめるコンサート。北海道を中心に活躍する中村幸(ピアノ)と小林佳奈(ヴァイオリン)が誰もが聴いたことのあるクラシックからポピュラーソングまで幅広く演奏。市民館主催のヴァイオリン教室に参加した児童らを中心に2016年に発足した「日本最北のオーケストラ」[名寄市少女オーケストラ]との共演も。

☉名寄市民文化センター
Tel. 01654-2-2218

●茨城県水戸市 12月23日 クリスマス・プレゼント・コンサート2017

1990年の開館以来開催している恒例のコンサート。池辺晋一郎の企画により、今年度は三浦一馬(バンドネオン)や谷口睦美(メゾソプラノ)、守岡未央(トランペット)ら多彩なゲストが聖夜を華やかに彩る。席番号でくじ引きを行うプレゼント抽選会のほか、コンサートの開場前と終演後にはエントランスホールでパイオルガンの演奏もあり。

☉水戸芸術館コンサートホール ATM
☉水戸市芸術振興財団
Tel. 029-227-8118

●茨城県水戸市 12月16日 五木田綾&見澤淑恵 Christmas Concert「クリスマスに贈る 華麗なるショパン」

県内在住・出身の新進演奏家の支援・育成を目的に開催している事業「ミュージックカフェ」の第3回。今回はポーランドで研鑽を積んだピアニストの五木田綾(いばらき文化振興財団 登録アーティスト)と朗読家の見澤淑恵による、これまでにないクラシック音楽の新しい楽しみ方を提

案する演奏会を実施。家族や友人、恋人と交わした手紙を紐解きながら、短くも波乱に富んだシヨパンの人生をたどる。

☉茨城県立県民文化センター
☉いばらき文化振興財団
Tel. 029-305-0161

●茨城県日立市 11月18日～ 12月26日

ヒタチスターライトイルミネーション2017 with SCIENCE ART

日立シビックセンター新都市広場などを約10万球のイルミネーションでライトアップする。今年度はプロジェクションマッピングなどアーティストによる演出を加えてパワーアップ。期間中は、キャンドルの明かりの中、「子どもオペラ学校」と地元ゴスペルグループがオペラの名曲やクリスマスソングを届けるミニコンサート、プラネタリウムのクリスマス特別上映会など多彩な催しを開催。☉日立シビックセンター 新都市広場、日立駅中央口前広場ほか ☉日立市民科学文化財団
Tel. 0294-24-7711

●東京都新宿区 12月3日 メリークリスマス♪星空ジャズ コンサート

多彩なアーティストによる演奏とプラネタリウムのコラボレーシ

写真
左上:モエレのホワイトクリスマス(札幌市) ©モエレ沼公園
右上:クリスマス・プレゼント・コンサート(茨城県水戸市)
左下:ヘリオス元旦コンサート(富山県南砺市)
右下:福岡ジルベスターコンサート(福岡市)

ンで年に6回開催している「星空コンサート」。今回は新宿3丁目界隈で開催されている新宿トラッド・ジャズ・フェスティバルに出演しているプロミュージシャンのバンド「新宿トラッドジャズ・オールスターズ」による年末恒例のクリスマスコンサート。満天の星の下で、お馴染みのクリスマス名曲を届ける。

☉新宿コスミックセンター プラネタリウム

☉新宿未来創造財団(レガス新宿) Tel. 03-3232-7701

●東京都立川市 12月22日～24日

立川シアタープロジェクト presents 子どもとおとなが いっしょに楽しむ舞台 vol.2 『西遊記～悟空のぼうげん～』

「子どももおとなも、クリスマスシーズンに大きな劇場に集まり、いっしょに特別な時間を過ごす」をモットーに、昨年からは始まった「立川シアタープロジェクト」主催による公演。10月には上演に先立ち、『西遊記』の世界が楽しめるレクチャーやワークショップも開催され、低料金にて未就学児も楽しめる工夫が凝らされている。

☉☉たましんRISURUホール Tel. 042-526-1311



昨年の公演「音楽劇 アラビアンナイト」

●新潟市 12月2日

りゅーとびあ☆オルガン・クリスマスコンサート2017「メサイア(抜粋)」

専属オルガニスト・山本真希による恒例のクリスマスコンサ

ト。今年は山本が長年あためてきた特別なメサイアをメインにプログラム。前半にオルガンとオーケストラでバッハの名曲を、後半にヘンデルの『メサイア』を、大オルガンの響きも加えた特別バージョンで演奏する。

☉☉りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 Tel. 025-224-5521

●愛知県知立市 12月16日

愛知県立芸術大学オペラ公演 2017『ヘンゼルとグレーテル』

愛知県立芸術大学との提携事業の柱として行っているオペラ公演。愛知芸大では「総合芸術プロジェクト」として、美術学部による舞台制作、音楽学部による管弦楽・合唱など総力を結集したハイレベルなオペラ公演を県下の公立ホールとの共催で毎年開催している。今回はグリム原作の不朽の名作を上演。長久手市文化の家でも上演(12月9日、10日)。

☉☉パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) Tel. 0566-83-8100

●大阪府豊中市 12月24日

豊中市市民第九演奏会

豊中市立文化芸術センターのオープニングシリーズのフィナーレを飾る市民第九演奏会。豊中市に本拠を置くプロの指揮者・オーケストラ・ソリストと市民との協働を、ホールがコーディネートする。選考を経て集まった、10歳から84歳までの200人以上の市民合唱団が、全17回の練習を通して、単なる市民参加にとどまらない芸術性の高い「第九」の演奏会を目指す。

☉☉豊中市立文化芸術センター Tel. 06-6864-5000

●兵庫県豊岡市 12月9日

青年団子ども参加型演劇 『サンタクロース会議』

年間を通じて演劇や音楽、美術

など多様なプログラムを開催する「Toyooka Art Season 2017」冬会期(11月1日～2月24日)のプログラムとして開催する演劇公演。作品は平田オリザが初めて手がけた親子で楽しめる参加型演劇で、2008年の初演以来各地で公演を重ねている。豊岡市内の小学2年生全員が鑑賞する学校公演(会場は3校の体育館)も実施される。

☉日高地区コミュニティセンター ☉豊岡市文化振興課 Tel. 0796-23-1160

●兵庫県西脇市 12月25日

アピカでクリスマス

アピカ和楽器教室の講師も務める「和楽器オーケストラあおい」の松崎嵐山(尺八)と新福かな(箏)が、高島春樹(ピアノ)と和洋楽器のコラボコンサートを開催。スタインウェイの音色に乗せて、箏と尺八でクリスマス名曲を普段とは違う音色で届ける。

☉☉西脇市立音楽ホール「アピカホール」 Tel. 0795-23-9000

●宮崎県宮崎市 12月17日

オルガンとその仲間たちシリーズ2017「クリスマス・オラトリオ」

劇場のオルガン事業アドバイザーを務めるチェンバロ奏者・大塚直哉の企画・監修により、劇場が所有するパイプオルガン、チェンバロを使ってバロック音楽を奏でるコンサート。9回目の今年はクリスマスにちなんで、ドイツの冬の定番「クリスマス・オラトリオ」をメインにプログラム。バロック界の第一線で活躍するメンバーによる古楽器オーケストラと共に、オーディションで選ばれた6名のソリスト、公募合唱団49人も出演する。

☉☉メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) Tel. 0985-28-3208

年越し・新春企画

●岩手県北上市 12月31日

FINAL LIVE 2017

プロアマ問わず、市民がさまざまなジャンルの音楽を演奏できる参加型公演。観客の投票を行い、優秀者にはレコーディング権などの賞品が贈られる。館内には1日限りの楽器屋や飲食店も出展。また、今年は新たに20歳以下のメンバーで構成されたバンドを対象としたU-20グランプリを開催し、若い力が大晦日を盛り上げる。

☉☉北上市文化交流センター さくらホール Tel. 0197-61-3300

●群馬県太田市 1月5日

太田市民会館 開館記念事業 ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2018

本物のウィーン音楽を本場の雰囲気提供しようとの狙いのもとに設立された名門「ウィーン・サロン・オーケストラ」によるコンサートが、2017年4月に開館した太田市民会館の開館記念事業として開催される。薫り高いウィーンの伝統を継承した一流の音楽家たちの演奏による優雅な響きが新年を彩る。

☉☉太田市民会館 Tel. 0276-57-8577

●東京都世田谷区 12月20日～2月4日(12月29日～1月3日休館)

眞田岳彦ディレクション/衣服・祝いのかたち vol.2 赤をめぐる 旅展 祝いの水引結び

この春に開催された「赤」色に着目する展示会の続編。今回は、主に冠婚葬祭の場で使用する水引の歴史を通して、日本における「赤と祝い」の物語を探る。12月28日には「祝いのお正月飾りづくり」ワークショップも開催され、日本人の祝いの文

化を実践する。

☎世田谷文化生活情報センター 生活工房
Tel. 03-5432-1543

●東京都練馬区 1月6日

第10回ゆめりあ若手寄席 2018新春初笑い

記念すべき第10回となる若手寄席。真打・柳家小せん、二ツ目・春風亭正太郎、色物に紙切りの林家楽一を迎え、フレッシュな若手の芸で2018年の初笑いを届ける。公演当日はチケットを持参すると、近隣の飲食店で「ほっこりサービス」が受けられる。

☎大泉学園ゆめりあホール
☎練馬区文化振興協会
Tel. 03-3993-3311

●横浜市 12月31日～1月1日

横浜みなとみらいホール ジル ヴェスターコンサート2017～ 2018

毎年恒例のカウントダウンコンサート。指揮者・飯森範親と、一流演奏家たちによる特別オーケストラ「横浜みなとみらいホールジルヴェスターオーケストラ」、そして豪華ソリスト陣が登場。プログラムは、行く年、来る年がアニバーサリーイヤーにあたる作曲家の作品から選曲している。0時00分に曲の終わりをピタリと合わせるカウントダウン曲『ダッタントの踊り』にも注目。

☎横浜みなとみらいホール
Tel. 045-682-2000

●川崎市 12月31日

MUZAジルベスターコンサート 2017

2017年を締めくくるジルベスターコンサート。第1部は、ミュージカルの原点となったオペレッタの名曲の上演。来年への期待を込めた選曲となっている。第2部は、ミュージカル界の歌合戦。ソリストは、白組「男声」陣とし

て、日本を代表するミュージカルスター岡幸二郎と、デビュー25周年を迎えますます活躍する石井一孝。紅組「女声」陣は、幅広いジャンルで活躍する実力派の土居裕子と、話題の新星木下晴香。東京交響楽団と名匠秋山和慶によるフルオーケストラで、華やかな公演となる。

☎ミューザ川崎シンフォニーホール
Tel. 044-520-0100

●富山県南砺市 1月1日

ヘリオス元旦コンサート2018

ヘリオス常任ピアニスト・岡田知子がプロデュースする恒例の元旦コンサート。記念すべき25回目となる今回は、イタリアから再来日となるジェンマ・ベルタニョッリをはじめ、元旦コンサートゆかりのアーティストが集結し、華やかなオペラなど記念公演にふさわしいプログラムとなっている。

☎福野文化創造センターヘリオス
Tel. 0763-22-1125

●福井県福井市 12月24日

ふくいの第九

県都において久しく開催されていなかった「ふくいの第九」が2016年に県民・市民の熱き想いと積極的な活動により復活。2017年の年末は、さらにパワーアップし、本来のオーケストラバージョンでの全曲公演が実現。ふくいフロイデ合唱団が、福井交響楽団の演奏で歓喜の歌声を響かせる。

☎ハーモニーホールふくい
Tel. 0776-38-8288



ふくいフロイデ合唱団

●岐阜県岐阜市 1月13日～28日
メディアコスモス新春美術館
2018～色即是芸～

岐阜市の画廊が推薦する岐阜ゆかりの作家によるグループ展。さまざまなフィールドや表現方法で活躍する7名の作家の作品を、それぞれの個展形式で紹介する。会期中にはシンポジウムや鑑賞ワークショップも開かれる。

☎みんなの森 ぎふメディアコスモス
☎岐阜市文化芸術課
Tel. 058-214-4973

●静岡市 1月16日

新春ホルン紅白歌合戦

静岡音楽館AOIと静岡市葵生涯学習センターの連携事業として実施されるコンサート。昭和を彩る珠玉の歌謡曲を、日本を代表する2人のホルン奏者（紅組キャプテン：大野雄太、白組キャプテン：上間善之）が情緒豊かにホルンで歌い上げる。

☎静岡音楽館AOI
Tel. 054-251-2200

●静岡県掛川市 12月2日～1月19日

第18回掛川ひかりのオブジェ展

今年で18回目を迎え、掛川の冬の風物詩としても定着しつつあるライトアップイベント。市民手づくりのほのぼのあたたかいひかりのオブジェが掛川のまちを彩る。今年は「かけがわ茶エンナーレ」の展示作品も加わり、街中がギャラリーに変わる。参加作品の中から市民投票などにより大賞が選ばれる。

☎ひかりのオブジェ通り(駅前通り～連雀西交差点)

☎掛川ひかりのオブジェ展実行委員会
Tel. 090-7028-3225

●名古屋市 1月3日

正月特別公演 名古屋能楽堂 20周年記念「能楽師が20周年

におくる能・狂言20番]

今年度開館20周年を迎えた名古屋能楽堂が、年間を通して能楽師選りすぐりの能と狂言「20番」を贈る記念公演。正月特別公演では、お正月にふさわしい能『翁』(久田勘鷗)と『羽衣』(清沢一政)を、狂言では『寝音曲』(奥津健太郎)を上演する。能のあらすじや見どころを紹介する事前学習講座も開催。

☎名古屋能楽堂
Tel. 052-231-0088

●島根県益田市 1月5日～7日

グラントワ・カンタート2018

日本各地の合唱団と韓国からのゲストが集結する3日間。昨年に続き2回目の開催。総合プロデューサーは、いわみ芸術劇場芸術監督を務める栗山文昭。日本語と合唱の魅力を探るレクチャーや美しい日本語合唱を研究するコンクール、日本と韓国の合唱団による交流コンサートを通して、「日本語の歌」を深める。

☎島根県芸術文化センター「グラントワ」
Tel. 0856-31-1860

●福岡市 12月31日

第4回福岡ジルベスターコンサート2017

第4回を迎える音楽好き誰もが参加できる出演者公募型のジルベスターコンサート。出演者は10歳代～80歳代で、プロアマ合同による大規模オーケストラと、四部合唱による演奏が行われる。また今年新しく井田勝大を指揮者に迎え、合唱団も交えての『威風堂々』で、今年初めて曲でのカウントダウンを行う。

☎福岡サンパレスホール
☎福岡ジルベスターコンサート実行委員会
Tel. 090-1366-8112

▼— 今月の情報

アートセンター、アーツクラーから寄せられた情報を毎月掲載します

地域通信

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示しているのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 宇野・高澤

●2018年2月号情報締切

1月5日(金)

●2018年2月号掲載対象情報

2018年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」

掲載情報募集

当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。

◎公共ホール等の求人情報

◎公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報

掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jafra.or.jp/>

北海道・東北

●青森県八戸市

八戸市南郷文化ホール
〒031-0111 八戸市南郷大字
市野沢字中市野沢24-1

Tel. 0178-60-8080 春日千春

<http://www.nangoartproject.jp/project/collect-dynamic/>

ダンス公演

「DANCE×JAZZ vol.6」

ジャズとダンスを組み合わせた、新しい作品のクリエイションを試みる企画の第6弾。今回は、泉彩菜(日本舞踊家)、中村蓉(振付師・ダンサー)、中山貴踏(タップダンサー)と八戸に拠点を置くジャズバンド、ピックバンドがそれぞれ共演し、「ジャズの里、南郷」で躍動したパフォーマンスを行う。

[日程]12月9日、10日

[会場]八戸市南郷文化ホール



一昨年の公演

●青森県青森市

青森県立美術館

〒038-0021 青森市安田字近野185

Tel. 017-783-5243 池田麻美

<http://www.aomori-museum.jp/ja/event/74/>

青森県立美術館演劇部公演

『津軽の女』

太宰治の短編小説『きりぎりす』と『燈籠』を元に戯曲化した『津軽の女』を上演する。10歳代～70歳代の県民が参加する青森県立美術館「演劇部」(部員27人)を創設し、太宰治文学の魅力伝えるためワークショップを重ね、青森の文学の魅力を演劇で発信していく。

[日程]12月8日、9日

[会場]青森県立美術館

●仙台市

せんだい演劇工房10-BOX

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-12-9

Tel. 022-782-7510 岩村空太郎

<http://www.gekito.jp/>

第5回せんだい短編戯曲賞

大賞授賞式&リーディング公演

「劇都仙台」事業の一環として、次世代の演劇を担う人材の育成や仙台市の文化芸術の拠点性の発信を目的に2013年に創設された戯曲賞。5回目となる今年は大賞が大竹竜平『タイトルはご自由に。』、鈴木稜『ひみつ箱』の2篇に決定し、授賞式とリーディング公演を行う。大賞作品を含む最終候補作品11篇、選評・選考結果を収録した戯曲集も刊行・出版する予定。

[日程]12月17日

[会場]せんだい演劇工房10-BOX

●秋田県秋田市

秋田県立美術館

〒010-0001 秋田市中通1-4-2
Tel. 018-853-8686 原田久美子

<http://www.akita-museum-of-art.jp/>

反転するいのち

—少女と人形の間に—

無生物である人形と、いのちある少女との間の揺らぎに注目した展覧会。四谷シモンの機械仕掛けの人形、すずきすずよによる生身のような人形、人形を絵画世界に息づかせた加藤貞子による作品、平野政吉美術財団が所蔵する無機質な表情の少女が描かれた藤田嗣治の版画、計4作家の33点をとおり、現実と虚構の世界を往還する。会期中にはギャラリートークや講座、ワークショップも開かれる。
[日程]11月18日～2018年1月3日
[会場]秋田県立美術館

関東

●栃木県日光市

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内2388-3

Tel. 0288-50-1200 迫内祐司

<http://www.khmoan.jp/>

開館20周年記念 没後111年

五百城文哉「高山植物写生図」の世界

小杉放菴の師でもある明治期の洋画家・五百城文哉(1863～1906)の個展を、美術館の開館20周年と五百城の没後111年を記念して開催。植物学的な知識に基づき描かれた『高山植物写生図』約100点を一堂に会し、合わせて晩年を過ごした日光に取材した作品、習作を加えた計約120点を展示する。鮮やかな色彩で精緻に描かれた作品をとおり、画家の実像に迫る。

[日程]11月11日～12月24日

[会場]小杉放菴記念日光美術館

●埼玉県戸田市

戸田市文化会館

〒335-0022 戸田市上戸田

4-8-1

Tel. 048-445-1311 村松美幸

<http://www.todacity-culturehall.jp/>

戸田市文化会館文化推進プロジェクト 市民ミュージカル

「サクラソウの咲く町で」

平成18年度より戸田市における新たな文化資源の発掘と創造を目指して、子どもから大人まで多くの市民が参加する市民ミュージカルに取り組んでいる。今年、新シリーズの1作目となるオリジナル作品を上演。

[日程]12月10日

[会場]戸田市文化会館



平成28年度公演「The River～二本の樫～2016」

●埼玉県三芳町

コピスみよし(三芳町文化会館)
〒354-0041 入間郡三芳町大字藤久保1100-1
Tel. 049-259-3211 竹原・三上
<https://www.miyoshi-culture.jp/coppice/program/171203.html>

第16回竹間沢車人形公演

竹間沢車人形は、ろくろ車という台車に腰掛けて大型の人形を一人で操る人形芝居で、幕末の頃から三芳町竹間沢に伝わる伝統芸能。現在は竹間沢車人形保存会のメンバーが中心となり、守り継いでいる。毎年冬に行われる公演では、一般公募により参加者を募り、半年間にわたる練習を経て保存会とともに上演に臨む。

[日程] 12月3日
[会場] コピスみよし(三芳町文化会館)



練習風景

●千葉市

千葉県文化会館
〒260-8661 千葉市中央区市場町11-2
Tel. 043-222-0077 時田
http://www.cbs.or.jp/zaidan/performance_info/events/171210cs/index.html

千葉県文化会館開館50周年記念事業 見る、知る、伝える千葉～創作狂言 里見八犬伝 其ノ壱～

房総に伝えられてきた民話や伝承を基に、和泉流狂言師・小笠原匡と千葉大学および県民で新たに作り上げる狂言。今回の公演は、昨年度に引き続き曲亭馬琴作『南総里見八犬伝』に

挑む。主題となる「勧善懲悪」を問い直すかと思えば、巧みな言葉遣いやユーモアある動きで笑いを誘うという、見どころ満載の作品となっている。

[日程] 12月10日
[会場] 千葉県文化会館



前回の舞台より

●千葉県鎌ヶ谷市

きらりホール(きらり鎌ヶ谷市民会館)
〒273-0101 鎌ヶ谷市富岡1-1-3
Tel. 047-441-3377 平澤・萩原
<https://www.kirari-kamagaya.jp>

第3回かまがや市民創作ミュージカル『たぬき』

「人づくり・地域づくり・まちづくり」をテーマにした市民参加型ミュージカル第3弾。相澤美智子(「劇団GAYA」主宰)オリジナルの脚本で、地元の梨畑を舞台にした人間とたぬきの恋物語。公募で集まった小学生から80歳代までの市民が、プロの指導を受けながら歌・ダンス・芝居の稽古を積み重ねてきた成果を披露する。

[日程] 12月16日、17日
[会場] きらり鎌ヶ谷市民会館



『たぬき』出演者集合写真

●東京都北区

北区文化振興財団
〒114-8503 北区王子1-11-1

Tel. 03-5390-1221 田村綾欧子
<http://www.kitabunka.or.jp/>

北とびあ国際音楽祭2017

1995年に始まったクラシック音楽の祭典。バロック・オペラの自主制作公演や公募の公演、無料公演を含む17種類の公演を楽しめる。今年のフィナーレは、グルック作曲のオペラ《オルフェオとエウリディーチェ》(パリ版)の上演。寺神戸亮指揮の古楽オーケストラ「レ・ボレアード」や海外から招聘するソリストなどに加え、ダンスカンパニー「ラ ダンス コントラステ」が華を添える。

[日程] 11月11日～12月10日
[会場] 北とびあほか

●東京都八王子市

八王子市夢美術館
〒192-0071 八王子市八日町8-1 ビュータワー八王子2F
Tel. 042-621-6777 川俣・梅田
<http://www.yumebi.com>

没後30年 銅版画家 清原啓子

神秘的、耽美的な物語性のある作品で知られる、八王子市出身の夭折の銅版画家・清原啓子の展覧会。あまりに精緻であったがために、わずか30点しか残っていない全銅版画と、原板や下絵素描、制作ノートなど未発表を含むさまざまな資料も併せて展示する。彼女が影響を受けたジャック・カロやギュスター



清原啓子《久生十蘭に捧ぐ》(1982年/エッチング) 八王子市夢美術館蔵

ヴ・モローといったヨーロッパの画家・版画家の作品も紹介し、創作の源泉をたどる。

[日程] 11月11日～12月14日
[会場] 八王子市夢美術館

●神奈川県横須賀市

横須賀芸術文化財団
〒238-0041 横須賀市本町3-27
Tel. 046-828-1602 芦川伸久
<http://www.yokosuka-arts.or.jp/kouen/1912020/index.html>

よこすか能 観世喜正プロデュース 蠟燭能『唐船』

200本の蠟燭が映し出す幻想的な舞台で、従来の能舞台にとらわれず迫力ある演出が魅力の能公演。今年、中国から日本人にわたって苦勞した唐人と日本人の織りなす悲喜こもごもを、能と狂言それぞれの世界観で描く。公演に併せて能楽を体験できるワークショップも開催。

[日程] 12月2日
[会場] よこすか芸術劇場



前回の舞台より

中部・北陸

●石川県輪島市

国際漆展・石川開催委員会
〒920-8203 金沢市鞍月2-20
Tel. 076-267-0365 谷口昌子
<http://www.design-ishikawa.jp/>

国際漆展・石川2017輪島展

1989年に始まり今年11回目となる漆の国際公募展。これまで世界の十数カ国から数多くの作品が寄せられ、「漆の新しい広がり」を考える国際的な展示会として高い評価を得てきた。漆を通じた国際交流の推進、人

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

と環境にやさしい漆という素材と技の魅力を再認識し、漆産業の発展を願うことを目的とする。10月に開催した石川県政記念のき迎賓館での展示に引き続き、輪島漆芸美術館にて展示。

[日程]11月11日～2018年1月14日
[会場]石川県輪島漆芸美術館

●長野県安曇野市、佐久市、東京都中央区
信州ザワメキアート展2017実行委員会
〒381-0008 長野市下駒沢586
Tel. 026-295-3441 持田めぐみ
<http://zawameki-art.com/>

ザワメキアート展2017～信州の障がいのある人の表現とアート・ブリュット～

障がい者の創作活動の発信の場と障がい者の創作した芸術作品を県民が広く鑑賞する機会を設け、その優れた芸術性や創造性に対する認識を高め、障がい者の文化芸術活動の振興を図るべく、昨年に続けて開催する展覧会。応募数185作品の中から中津川浩章(美術家、アートディレクター)らの審査員から選ばれた20名の作品を展示。

[日程・会場]12月1日～20日:安曇野市豊科近代美術館/2018年1月6日～2月4日:佐久市立近代美術館/2月15日～17日:銀座NAGANO

●静岡県川根本町
川根本町文化会館
〒428-0414 榛原郡川根本町東藤川909-1
Tel. 0547-59-3106 服部了士
<http://www.sd-lab.org/kawanehoncho/>
やまめとまんてん Vol.4
「ほしぞらダンスパラダイス」

清流に棲む魚と満点の星を作品名にした創作ダンス。ワークショップでセレノグラフィカの指導を受けた町内全4校の小学

4年生が一同に集まり、身体を使って自らを表現する。ダンスを習うだけではなく、子どもたち自身が振り付けを考え練習してきた、世界でたったひとつの作品を発表する。

[日程]12月9日
[会場]川根本町文化会館



ワークショップの様子

●名古屋市
名古屋市文化振興事業団
〒460-0008 名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク8F
Tel. 052-249-9387 宮田健秀
<https://www.bunka758.or.jp/>

子どもアート万博2017
世界各国のさまざまなジャンルの文化芸術が体感できる子どものためのイベント。民族楽器を演奏できるワークショップや外国人アーティストによるダンスパフォーマンスのほか、アートピアホールでは、1日目はセントラル愛知交響楽団、2日目は地元の子どもたちを中心としたジャズバンドが世界の名曲を演奏する。

[日程]12月9日、10日
[会場]名古屋市青少年文化センターほか

近畿

●滋賀県高島市ほか
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
〒520-0806 大津市打出浜15-1
Tel. 077-523-7152 杉本実生
<https://www.biwako-hall.or.jp/>

みんなで作ろう!林光作曲オペラ『森は生きている』
劇場専属の音楽家集団「びわ湖ホール音楽アンサンブル」が3カ

年かけて県内全域で行う公演。公演各所でそれぞれ合唱団を立ち上げ、地域一体となって舞台に臨む。成安造形大学とチラシデザインや舞台美術の作成、合唱出演などで連携し、アウトリーチなども実施。

[日程・会場]12月10日:ガリバーホール(高島市)/12月16日:甲賀市あいこう市民ホール/12月24日:湖南市甲西文化ホール



昨年度の公演(提供:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール)

●兵庫県尼崎市
尼崎市総合文化センター
〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16
Tel. 06-6487-0806 妹尾綾
<http://www.archaic.or.jp/>

「白髪一雄 画材と表現」―描き方は、素足だけじゃない―

天井から吊りしたロープにつかまり、床に広げたキャンパスに素足で描く独自のアクション・ペインティングを編み出した白髪一雄(1924～2008)。本展では、生涯を過ごした尼崎市のアトリエに残された貴重な画材道具をはじめ、尼崎市所蔵作品などを含む約20点を紹介し、アクション・ペインティングが生み出され進化していく過程をたどる。

[日程]11月11日～12月24日
[会場]尼崎市総合文化センター

九州・沖縄

●大分県大分市
ホルトホール大分
〒870-0839 大分市金池南1-5-1
Tel. 097-576-8877 是永幹夫
<http://www.horutohall-oita.jp/>

舞踊×演劇 いま、咲(え)む。

創作の場とコラボの場をさまざまなかたちで追求していくシリーズの一環で、若手日本舞踊家である小野ひとみ・林杏と、大分県下の演劇人が大分の演劇を盛り上げるために発足した「おおいた演劇の会」が、コラボレーションによる温故創新の舞台を創作。「伝える・創る・踊る」ことを、創作舞踊詩『清廉の華』を通して試みる。

[日程]12月24日
[会場]ホルトホール大分

講座・シンポジウム

京都:Re-Search×福島:はまなか・あいづ文化連携プロジェクト「地域“に”向き合う、地域“と”向き合う～アーティスト・イン・レジデンスから、未来に向けた対話～」

アーティスト・イン・レジデンス(AIR)により、アート視点で交流人口の拡大や地域活性化へ繋げるべく行っている事業の一環。今回は、第1部にて「はまなか・あいづ文化連携プロジェクト」の活動から、大災害・大事故との向き合い方の視点を含めて共有。第2部では「京都:Re-Search 2017 in 福知山&京田辺」、「大京都 2017 in 舞鶴」の取り組み報告とともに、AIRのアーティストらに経験談を聞き、その可能性を探る。

[日程]12月10日
[会場]京都文化博物館
[問い合わせ]京都:Re-Search 実行委員会
Tel. 075-414-4279
<http://kyoto-research.com/>

財団からのお知らせ

●調査研究事業に関する問い合わせ
芸術環境部 高澤・宇野・梅田・吉崎
Tel. 03-5573-4093・4066

●平成29年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」『とおのものけやしき』
(作・演出：岩崎正裕)

◎公演会期・会場

7月22日、23日/伊丹市立演劇ホール(アイホール)

7月30日/鳥取県立倉吉未来中心

8月5日、6日/三重県文化会館

8月19日、20日/長崎市チトセピアホール

8月26日、27日/いわき芸術文化交流館アリオス

9月2日、3日/松山市民活動センター

◎地域交流プログラム実施日・会場

5月20日/鳥取県立倉吉未来中心

6月17日/三重県文化会館

7月2日、3日/いわき芸術文化交流館アリオスほか

7月8日/伊丹市立演劇ホール(アイホール)

8月1日/東松山市総合会館

9月24日/長崎ブリックホール

◎問い合わせ

芸術環境部 上木・水上市

Tel. 03-5573-4076

●ウェブサイトに関する問い合わせ

芸術環境部 高澤・宇野

Tel. 03-5573-4093・4066

●「公立文化施設の管理運営状況に関する調査研究」アンケート調査実施のお知らせ

今年度、地域創造では、「公立文化施設の管理運営状況に関する調査研究」をテーマとして、この度アンケート調査を実施することになりました。

これは、指定管理者制度が創設されて以後、導入状況も含めて全国の公立文化施設の管理運営の状況を把握するために実施するものです。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮で

すが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本調査では12月初旬に各自治体の皆様へ調査キットをお送りします。皆様の回答や返送のご負担を軽減し、また集計を効率的に行うため、ぜひ電子アンケート票(PDFフォーム)での回答にご協力をお願いします。回答結果は今年度内に集計し、まとまり次第、地域創造ホームページにて報告書を公開します。

●平成29年度「公共ホール演劇ネットワーク事業」終了報告

複数の公共ホールが共同して演劇作品の上演とワークショップなど地域交流プログラムを実施する「公共ホール演劇ネットワーク事業」が終了しました。

平成29年度は5月から9月にかけて伊丹市立演劇ホール(アイホール)、鳥取県立倉吉未来中心、三重県文化会館、長崎市チトセピアホール、いわき芸術文化交流館アリオス、松山市民活動センターの合わせて6つの公共ホールで、地域交流プログラムと演劇作品『とおのものけやしき』の上演を行いました。

この作品は怖さとおかしさに満ちた「怪談話」を通して、かつてあった暮らしの歴史を子どもたちに伝える「こわくて、ふしぎな、夏のおしばい」です。

現在では使わなくなった古道具の数々と妖怪の出現に、子どもたちは想像力をふくらませ、登場人物とともに謎を解くことで物語を楽しみながら昔の暮らしを知ることができます。

大人はかつて過ごした自分の昭和時代を振り返りながら、子どもたちとともに舞台を味わうことができ、親子だけでなく、祖父母世代の方も一緒に楽しめる作品となりました。

地域交流プログラムは、それぞれの地域の特色や上演作品から着想を得たワークショップ、対談、バックステージツアーなどを実施しました。

参加したホールの担当者は「複数館で協働し、

取り組むことで、各地域の舞台芸術を取り巻く環境がさまざまであることを実感した。地域の演劇への需要を知り、参加者の拡充、そして制作側の成長の機会となった」と事業を振り返っていました。



上：『とおのものけやしき』伊丹市立演劇ホール公演(撮影：井上大志)/下：地域交流プログラムの様子(伊丹市)

●平成28年度事業報告書 ウェブサイト公開のお知らせ

平成28年度の各事業報告書を、地域創造ウェブサイトにて公開しています(PDF版)。下記アドレスから閲覧・ダウンロードができます。

「出版物・報告書」→「事業報告書」

http://www.jafra.or.jp/j/library/business_report/
地域創造が運営しているウェブサイトは、地域の文化・芸術に関する情報をより広く提供することを目

的に、当財団の概要・事業紹介のほか、財団が発行するニュースレター、雑誌、調査研究報告書を掲載し、地域の最新の動向・活動等をお伝えしています。また各事業の申請書や様式をダウンロードすることができます。地域における文化・芸術活動の情報収集、公立文化施設の活性化や芸術環境創りに、ぜひご活用ください。

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●平成29・30年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」鹿児島セッションシンポジウム終了報告

平成16年度から始まった本事業は、都道府県と連携し、アウトリーチの手法による事業展開の普及や県内のネットワーク形成などを目指して2年間にわたって実施する事業です。

平成29・30年度は、鹿児島県で実施。初年度の今年度は、県内の公共ホール事業担当者や教育関係者、地元アーティスト等が、アウトリーチの意義や手法を学び、鹿児島県全体の文化活動の活性化を図ること等を目的として10月6日(金)に「アウトリーチ・セミナー」を開催しました。

前半は「ワークショップ～ピアノとダンスの越境からヒラク扉～」を実施。ピアニストの仲道郁代さんとダンスカンパニーセレノグラフィカ(隅地茉歩+阿比留修一)によるワークショップ。音楽×ダンスのワークショップを体験し、異なったジャンルの芸術が、お互いをリスペクトすることによって生まれる新たな可能性について体感し、考えました。

後半は「アーティストと地域の文化拠点が作る可能性」と題したシンポジウムを実施。ワークショップ出演アーティストによるシンポジウム。アーティストの考えや経験談から、地域や社会における芸術の役割や可能性について一緒に語り、アー

ティストと地域の文化拠点は今何ができるか、何をすべきかを考えました。

参加者からは、「実際に体験した上で、シンポジウムで講師の話聞いたので、非常に納得できた」「これまで漠然とやりたと思っていたことや必要だと感じていたことへの道筋のヒントが見えた」などの声が聞かれました。参加者それぞれが深く感じ考えた、濃密なシンポジウムとなり、来年度に向けての好スタートとなりました。



ワークショップの様子

●平成29年度「公共ホール音楽活性化政令指定都市アウトリーチセミナー事業」終了報告

公共ホール音楽活性化政令指定都市アウトリーチセミナー事業は、公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)で蓄積したノウハウを活かし、アウトリーチによる地域とのネットワークづくりを政令指定都市等に普及することを目的とした事業で、平成29年度は新潟市で実施されました。公益財団法人新潟市芸術文化振興財団では、これまでに地域在住音楽家によるアウトリーチを実施していますが、「アウトリーチの概念」「様々な手法」「地域アーティストとしての活動」等のニーズを感じており、この事業では、これらの生じたさまざまな問題点等と対処方法、成果を改めて広い視野でとらえ直す機会として実施されました。

今回のセミナーは3回の研修会に分けられ、第1回、第2回は新潟市内の小学校および老人福祉施設でのアウトリーチで、地域在住音楽家とおんかつ登録アーティストのアウトリーチ実演と感想会を実施。また第3回の研修会では、おんかつの児玉真プロデューサーによる「アウトリーチ概論」のほか、一般社団法人日本クラシック音楽事業協会業務執行理事事務局局長であり、おんかつコーディネーターの丹羽徹さんが「アウトリーチ、様々な

手法」と題して全国の事例を紹介するなど、それぞれの経験に基づいた具体的な講義となりました。

さらに地域事例として、新潟市芸術文化振興財団の榎本広樹さんのファシリテーションにより、宮崎県立芸術劇場の三雲由佳さん、琉球交響楽団クラリネット奏者の根間安代さんがそれぞれホール事業担当者と演奏者の視点から、アウトリーチについての考えを紹介しました。

セミナーを通じて延べ72人のアーティストや事業担当者、学生等によりさまざまな議論がなされ、アウトリーチについて深く掘り下げられました。



丹羽徹氏による講座「アウトリーチ、様々な手法」

●公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業に関する問い合わせ
芸術環境部 米山
Tel. 03-5573-4059

●公共ホール音楽活性化政令指定都市アウトリーチセミナー事業に関する問い合わせ
芸術環境部 菊地
Tel. 03-5573-4064

▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

熊本県津奈木町

つなぎ美術館

西野達「ホテル裸島 リゾート・オブ・メモリー」



上：『ホテル裸島』(右)と、海の上の小学校として津奈木町のシンボルになっている旧赤崎小学校(干潮時)
中：客室から裸島を望む(満潮時)
下：作品《達仏》(彫刻：森英顕)

●西野達「ホテル裸島 リゾート・オブ・メモリー」

[会期]2017年10月7日～12月5日

[会場]津奈木町内(旧赤崎小学校付近、津奈木町役場付近)

[主催]つなぎ美術館、西野達つなぎプロジェクト実行委員会

*2010年に閉校になった海辺の小学校「赤崎小学校」を利用し、アーティストの遠山昇司と住民が協働したアートプロジェクト。赤崎小学校の校舎に「赤崎水曜日郵便局」を開局し、そこに自分の水曜日の出来事(物語)を記した手紙を送ると、スタッフによって無作為に交換された他の誰かの水曜日の物語が送られてくるという一期一会のプロジェクト。

人口約4,700人の熊本県津奈木町にある町立つなぎ美術館では、2008年から住民参加のアートプロジェクトやアーティスト・イン・レジデンスを開始。アーティストと地域住民、アート作品と地域資源を丁寧に繋ぐ活動で2013年には地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞。14年にも住民参加による「赤崎水曜日郵便局」(*)でグッドデザイン賞を受賞している。その同館が15年から3年がかりで実現させたのが、世界的アーティストの西野達さんを招いた『ホテル裸島 リゾート・オブ・メモリー』だ。

西野さんは、シンガポールのマーライオンやニューヨークのコロンブス像といった公共彫刻などの周りを囲い、実際に宿泊できるホテルの一室などのプライベート空間に変貌させる作品で知られている。企画を担当した学芸員の楠本智郎さんは、「これまでの西野作品は住民参加とは無縁だったので、興味をもっていただけか、挑戦でした。でも西野さんはアート業界ではなく、一般市民に向けたアートの在り方を強く意識している方で、館のコンセプトをすぐに理解してくれました」

「津奈木町が30年以上前からアートでまちづくりをしているのを知ってとても驚きました。僕は起伏に富んだ地形が好きで、津奈木に別荘が欲しいぐらい(笑)、町も自然も気に入りました」と西野さん。

2015年、まず地域住民を中心に実行委員会を立ち上げた。西野さんは町をくまなく回り、ランドマークである重盤岩の上のホテルや海の中のプールなど場所の特性を生かしたユニークなプランを次々と提案。20回以上の会議を重ね、実行委員会を選んだのが、旧赤崎小学校から干潮時には歩いて渡れる「裸島」にホテルの部屋をつくるプランだった。

ところが、計画途中で自然公園法に抵触することが判明。ほかにも予算や条例など調整すべき課題が多く、楠本さんや西野さんも諦めかけたほどだった。しかし、アートに惚れ込んだ町役場の職員の熱意もあり、プランを練り直し、裸島の対岸、小学校に隣接する海上にホテルを建設することになった。

当初計画より1年遅れで『ホテル裸島』は完成した。スリッパには「赤小」の文字が入り、シャワーや洗面台、壁のガラスブロック、壺やハンコも赤崎小学校にあったもの。町の住民ならずとも懐かしい気分になる。そしてベッドルームに入ると、全面ガラス張りの部屋に圧倒的な迫力で裸島と海の風景が飛び込んできた。

町内で建設業を営み、プロジェクトの相談にのった野崎武寿さんは、「小さい頃から見慣れている裸島なのに、ホテルからみると別世界。凄い、アーティストとはこんな世界をつくる存在なんだと思いました。この企画でまちを見直す意識が生まれ、住民の連携も強まったと思います」と言う。

『ホテル裸島』はただの作品ではなく、正式に旅館業法による営業許可を受けた宿泊施設だ。特筆すべきはその運営を専門業者ではなく、約90人の住民ボランティアが担っていること。隣町のホテルでベッドメイキングの研修を受け、九州の有名旅館の女将におもてなしを学び、宿泊客に振る舞うお弁当のレシピも開発した。地元の食材で家庭や郷土の料理をアレンジし、調理は地域のお母さんたちが担当した。

取材当日、受付をしていたボランティア女性は、「普段は猫と年寄りしかいないと言われるぐらい静かな町。その中でも赤崎地区は小学校が閉校になって落ち込んでいました。でもこのホテルが出来て、昨日も北海道の方が宿泊して『本当に夕日が素晴らしい』と感動されていた。とても誇らしかったです」と声を弾ませていた。

西野さんはもうひとつ、町役場近くの雑木林を舞台に、生えたままの立木に仏像を刻む「達仏」プロジェクトをスタート。ほとんど訪れる人のいなかった場所のそこそこに23体の仏像が見え隠れし、仏像が彫られた木に新芽が育つなど、不思議な気配を醸し出していた。「来年、再来年も少しずつ増やしていきたい」と西野さん。

期間限定の『ホテル裸島』はなくなるかもしれない。でも美術館が灯したアートプロジェクトの心は、この達仏のように地域の中で木々とともに形を変えながら育ち続けるのだらうと確信した。(アートジャーナリスト・山下里加)